



第342号	
令和4年	4月28日
児童数	657名
編集発行	新潟市立下山小学校

今年も 認め合い、高め合い、温かい学校を！



校長 伊藤紀幸

大きく膨らんだつぼみから、ピンクの花びらが見え隠れする桜に迎えられ、全校657名で令和4年度がスタートしました。昭和30年の開校から68年目、67周年を迎えます。空港前に広がる住宅街に平成25年に改築されたばかりの真新しい校舎。このような恵まれた環境において教育活動に励むことに大きな喜びとともに責任を感じています。

4月後半の「ようこそ1年生週間」では、113名の新1年生に向けて、学年ごとに全校ダンス、校内ウォークラリーや校歌などの学校紹介、校内飾り付けやアサガオの種のプレゼントなど、趣向を凝らしたイベントが行われました。



感染拡大防止の取組も3年目を迎え、今年度も授業参観や運動会をはじめとする様々な行事、さらにPTAの活動など、たくさんの方が一堂に会したり、直接触れ合ったり、かかわり合ったりする機会を作ることは制限せざるをえません。

だからこそ、小規模の異学年交流の機会や、メッセージ動画など、間接的であっても、心に触れるかかわりあいの機会を増やし、その中で「お互いを認め合う力」「お互いを高め合う力」（コミュニケーション力）を育てることがとても重要です。

また、今年度より、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）が導入されます。その目的は、保護者、地域、学校が一体となって新潟市教育ビジョンの中心的な考えのテーマである「これからの社会をたくましく生き抜く力」を育成することにあります。

これまでも学校評議員としてアドバイスをいただいていた方々に加え、地域で子どもたちとかかわりの深い方々を中心とした構成で令和4年度はスタートする予定です。保護者、地域の思いを受け止め、普段の教育活動、「まなび」「かかわり」「くらし」の3プロジェクトの取組を中心に、子どもたちの活動を職員あるいは子ども同士で価値付け、それを広げていきます。「私は（〇〇さんは）こんな良いところがある、役に立っている」という思いや機会をできるだけ多く作り、「みんなが楽しい温かい学校」を目指します。

いつ、だれが感染してもおかしくない状況が続いています。保護者の皆様からは、朝の健康観察、清潔なハンカチ、（可能であれば）マスクの用意、7時50分以降の登校、体調のすぐれない場合の対応等様々な面でご負担をお掛けすることとなります。

今年度も、健康、安全を第一に、保護者の皆様、地域や関係機関との連携を図り、地域の感染レベルに応じた教育活動を推進します。どうぞよろしくお願ひいたします。

令和4年度入学式 4月8日(金)

令和4年度下山小学校に、113名の新1年生を迎えました。ご入学おめでとうございます。在校生を含め、657名の児童とともに、楽しい学校生活を過ごしていけるよう、職員・子どもたち一丸となって、取り組んでいきます。



入場開始



入学式(開式)



校長祝辞



担任発表



初めての授業



4月初旬の登校
「おはようございます」



初めての給食「上手に準備ができたよ」



休み時間「友達と楽しく遊んだよ」